



シクラメン ー 田中花園

謹
新
年
賀

上尾市農業委員会
会長 矢部 毅



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は私たち農家にとって忘れることがない年になりました。ご承知のとおり、TPPが合意され、詳細が明らかになってきました。農林水産物の81%の関税が撤廃されました。主要5品目についても段階的に引き下げされることになるようです。

今後、輸入品との過当競争になることが推測されますので、農林水産省を含めた国や県、市の動向に注視し、持続可能な農業の発展のため尽力していきたいと考えております。さて、上の写真は市内西宮下でシクラメンの生産販売をされている認定農業者の田中虎久さんのガラス温室内の様子です。田中さんはシクラメンのほかにもパンジー・スミレなど様々な花を栽培しています。なお、11月に開催された農産物共進会にシクラメンを出品し、埼玉県知事賞を受賞（別掲）されました。また日ごろよりあげお朝市や市内の各イベントへの出店協力をしており、上尾市の農業振興にも積極的に協力していただいています。

農業委員会等に関する法律が改正されました



重要ポイントは次の3つです。

農業委員会業務の重点化

- 農業委員会の業務の重点は、農地利用の最適化の推進であることを明確化。

農業委員の選出方法の変更

- 地域の農業をリードする担い手が透明なプロセスを経て確実に就任するようにするため、市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制に変更。

農地利用最適化推進委員の新設

- 農業委員とは別に、各地域において農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員を新設。



農業委員と農地利用最適化推進委員 を募集します

1月4日(月)から1月29日(金)までの期間で募集します。
なお、郵送の場合は29日(金)必着となりますのでご承知おきください。

募集要項、応募用紙は農業委員会事務局にありますのでお問い合わせください。



電話 048-775-9694

ホームページ <http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s780100/>

農地パトロール



農業委員会では荒廃が著しい農地や無許可で農地以外に利用されている農地の早期の発見・解消を目的に農地パトロールを行いました。なお、農地として適正に管理されていない農地につきましては、そのまま放置されると雑草の種や病害虫の発生の原因となるなど、周辺の農地に迷惑を及ぼすだけでなく、冬季には枯れ草になり周辺住民に火災の不安を抱かせるなど悪影響がありますので、草刈りなど適正な管理をお願いします。

生産緑地地区では

- ☆建築物、その他の工作物の新築・改築・増築、宅地造成、土石の採取、埋め立てなどは、原則として許可できません。
- ☆市民農園は、市民農園整備促進法など法律に基づくものに限り許可になりますが、単に区割りして、貸し付ける家庭菜園を行うことはできません。



農業者年金

農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業者のための安定した積み立て式の公的年金です。

■加入要件

- ・農業に年間60日従事
 - ・国民年金第1号被保険者
 - ・20歳以上60歳未満
- ※農地を所有していない人、配偶者や後継者でも加入できます。

■農業者年金のメリット

- ・積み立て式で少子高齢化に強い。
- ・年金は一生涯支給、80歳まで保証付き。
- ・保険料の額は自由に決められます。
- ・支払った保険料は全額社会保険料控除対象。
- ・認定農業者等の担い手の方は、国から保険料の補助が受けられます。



あげおアグリフェスタ

**○上尾市農業委員長賞
「柿」
鈴木(東)農園
上尾地区 鈴木 好子さん**

**○埼玉県知事賞
「シクラメン」
田中花園
大谷地区 田中 虎久さん**

**○埼玉県農業会議会長賞
「キャベツ」
鈴木(東)農園
上尾地区 鈴木 好子さん**

**○上尾桶川伊奈農業委員会連絡協議会長賞
「多肉植物」
(有)第一植物園
大石地区 高澤 慎之介さん**



平成27年11月7・8日、市民体育館で「あげお農業祭」が開催されました。例年同様、農業委員会はもちつきを行い、お祭り会場にお越しになつた方々へ振る舞いました。皆さまから「歳末たすけあい募金」へのご協力を願いしたところ、三七、六〇五円をお預かりしました。お預かりした募金は、埼玉県共同募金会上尾市会に寄付しました。ご協力ありがとうございました。

また、農産物共進会では、上尾市農業委員会長賞に鈴木好子さんの柿、埼玉県知事賞に田中虎久さんのシクラメン、埼玉県農業会議会長賞に鈴木好子さんのキャベツ、上尾桶川伊奈農業委員会連絡協議会長賞に高澤慎之介さんの多肉植物による寄せ植えが選ばれました。今後の活躍を祈念しております。

昨年は、日本人二人のノーベル賞受賞やラグビーワールドカップでの日本チームの活躍など喜ばしい出来事があつた反面、ISによる人質殺害やパリでのテロなど痛ましい事件が絶えなかつた一年でした。

農業分野では、会長の挨拶にもあつたTPPの合意の他にも、夏場の長雨や常総市などの豪雨、水害など、農家を悩ます自然災害が頻発しました。この傾向は、地球温暖化の影響もあり今後、増加することが確実視されています。あえてお伝えするまでもないかとは思いますが「備えあれば憂いなし」、日ごろの準備や心構えが重要です。

さて、話は変わりますが、本年4月は、農業委員の改選となります。先にお知らせしたとおり、農業委員会等に関する法律が64年ぶりに改正され、これまでの公選制から公募制になります。募集要項などは、農業委員会事務局で用意してありますので、お問い合わせください。

本年もよろしくお願ひいたします。

編集後記